

カギの授業

東京都立科学技術高等学校

授業紹介

第2学年 国語科

古典探究実践Ⅰ

単元②『徳に向き合う』

科目のねらい

理系の生徒が漢文の学習に取り組むために、**漢文をSVOで捉える視点と、漢文ならではの世界観**を獲得することを企図しています。最優先は儒教の**徳**のイメージを持つことです。

単元のねらい

漢文をSVOをたどりながら読む練習と、孔子の考える「徳」のイメージを持つことの両立を図りました。学校生活を共にする担任団の先生をポスターにすることで、実感を伴う理解を目指しました。

単元を貫く本質的な問い

「『よく生きる』とはどういうことか。」

具体的な学習活動

(1) 書き下し文のルールを確認し、返り点・置き字・送り仮名を処理しながら章句を読む。SVOを把握し、省略された語を補う。

(2) [課題] 担任団の先生一人ひとりについて、その人物を最もよく表す章句を一つ選ぶ。まず個人で素案を作り、班でプレゼンして合意形成し、選定理由と先生へのメッセージをまとめる。

(3) 成果をポスターにして校内に掲示する。

※ポスター自体は評価の対象にしない代わりに、廊下に掲示してみんなで眺めることで、表現に責任を持つように指導しました。

※Formsを用いて文字データを収集しました。ポスターは生徒が作成する時間が(考査直前のため)取れなかったため、教員がCanvaで作成しました。

生徒が制作したポスター

班ごとに担任団の先生を一人担当し、その先生を最もよく表す章句を選びました。「あでもない、こうでもない」と話し合う時間こそが、「徳」を自分の言葉に置き換える作業になります。

※実物は先生名を掲載しています。

